

私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
69.9%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

半導体・電子部材や、貴金属地金・貴金属化成品の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界、半導体・電子部品業界を主要顧客としています。

環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクルと、その他製造業から発生する産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

貴金属事業の強み

- めっき用化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
- 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱量は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の流通市場で品質が保証されています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
30.1%

事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



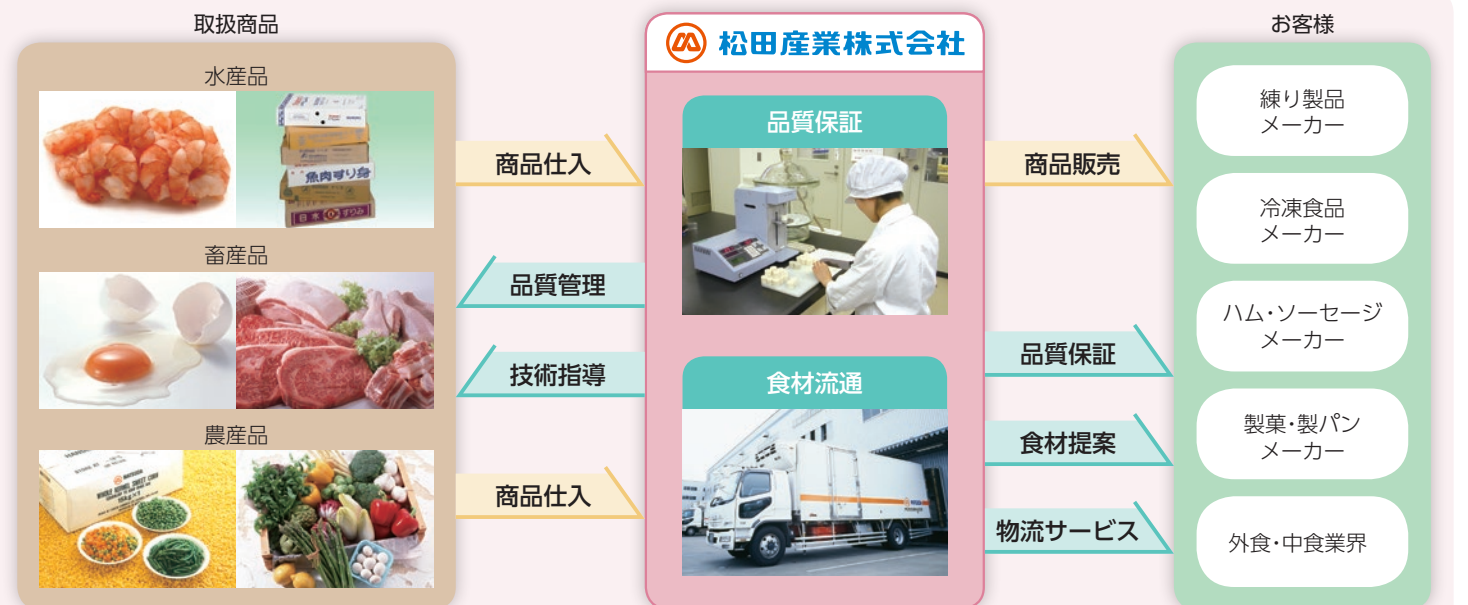
事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安心・安全な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

- ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
- 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
- すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

事業フロー





代表取締役社長 松田 芳明

当社ならではの強みを核に、 持続的成長への取り組みを グローバルに展開してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2015年3月期第2四半期（2014年4月1日～2014年9月30日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

2015年3月期第2四半期の業績と配当につきまして

当第2四半期においては、政府の経済政策や日銀の金融政策等により円安・株高傾向が持続し、雇用状況や企業収益が改善するなど景気の緩やかな回復が続いた一方、消費税増税に伴う個人消費停滞の長期化が懸念され、先行き不透明な状況が続きました。

こうしたなか貴金属関連事業では、貴金属製品の販売量が前年同期を上回ったものの、電子材料の販売減と一部貴金属相場の下落等から、減収減益となりました。食品関連事業では、仕入価格の高騰による厳しい事業環境のなか、水産品、畜産品、農産品のいずれも販売数量を伸ばしたほか、高付加価値品を中心とする販売価格の上昇も寄与し、増収増益となりました。

以上により、当社の2015年3月期第2四半期の連結業績は、売上高は前年同期比4.5%増の876億23百万円、営業利益は同16.6%減の20億10百万円、経常利益は同13.1%減の23億16百万円、四半期純利益は同10.1%減の15億60百万円となりました。このような業績を受け、第2四半期末配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり12円といたしました。2015年3月期の期末配当も12円とし、年間配当金は、前期と同額の24円とする予定です。

2015年3月期第2四半期 ハイライト

貴金属関連事業

- 2014年4月 第1回高機能金属展2014に出展

その他経営関連

- 2014年5月～2014年6月 自己株式の取得を実施

当社ならではの付加価値をさらに磨き、 グローバル競争力を高めてまいります

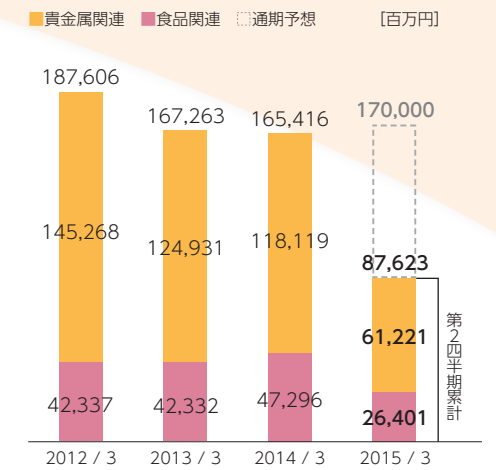
貴金属関連事業では、貴金属相場が一部不安定な傾向にあるものの、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況は調整局面を脱し、回復基調をより鮮明にさせつつあります。当社は引き続きエレクトロニクス産業の一大拠点である東アジアにおいて「No.1 リファイナー」を目指すというビジョンのもと、商品・サービス力のさらなる強化によりグローバル競争力と収益力を高め、持続的成長を確保してまいります。本年3月に現地法人を設立したベトナムでは貴金属製錬工場の建設を順調に進めており、来年9月に稼働予定です。

食品関連事業では、個人消費の停滞や円安などによる厳しい事業環境下ではあるものの、こうした局面においてこそ、当社グループの強みである品質保証ノウハウや、安全・安心・高品質な食品原料を安定供給する能力が発揮されると考えております。変化する需要業界のニーズに対応し、引き続き、食材調達力の強化と販売先拡大をグローバルに展開してまいります。

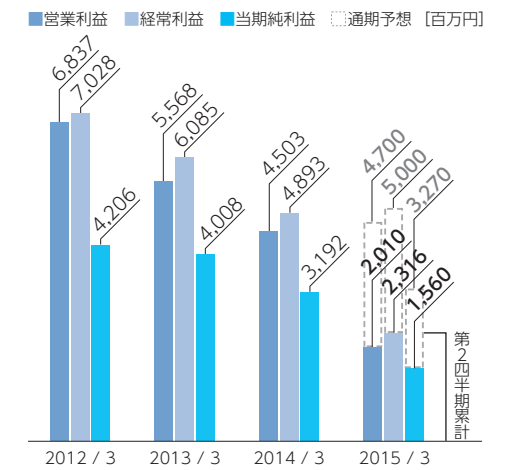
当社はこれからも重要な社会的使命を担う企業として、貴金属関連事業を成長牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた持続的成長を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

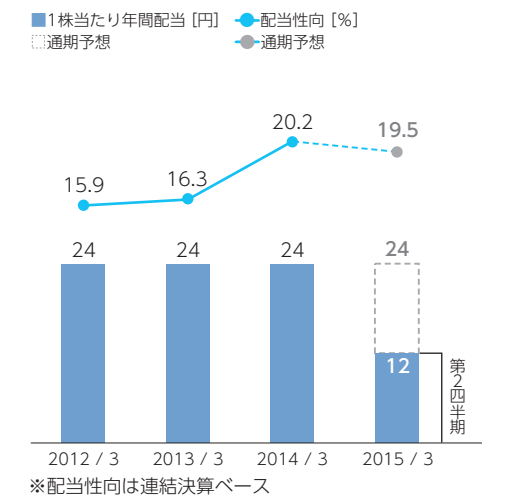
売上高



営業利益／経常利益／当期純利益



1株当たり年間配当／配当性向

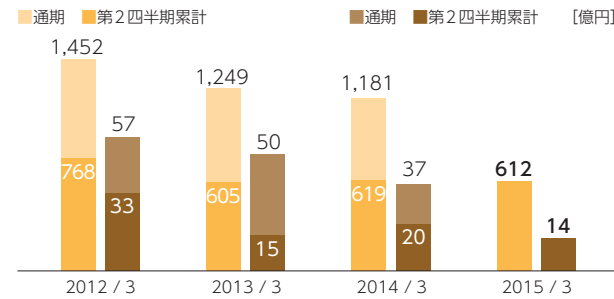


営業概況&グローバルネットワーク

貴金属関連事業

売上高 **612億円**
(前年同期比 1.2%減)

営業利益 **14億円**
(前年同期比 31.7%減)



2015年3月期第2四半期の業績

貴金属部門では、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況の回復が続き、貴金属製品の販売量は前年同期を上回ったものの、電子材料等の販売量が前年同期を下回ったほか、一部貴金属相場下落の影響等もあり売上高は減少しました。環境部門では、対象業界の生産活動が緩やかな回復基調にあったことから取扱量が増加しましたが、写真感材回収における銀価格の下落等の影響から、売上高は減少しました。

通期の見通しと施策

半導体・電子部品業界の回復傾向が続いており、貴金属原料回収量も徐々に増加することが期待されるなか、持続的成長の確保へ向け、「海外拠点の強化」「国内拠点の拡充・効率化」「製品・技術の開発」に取り組んでいます。

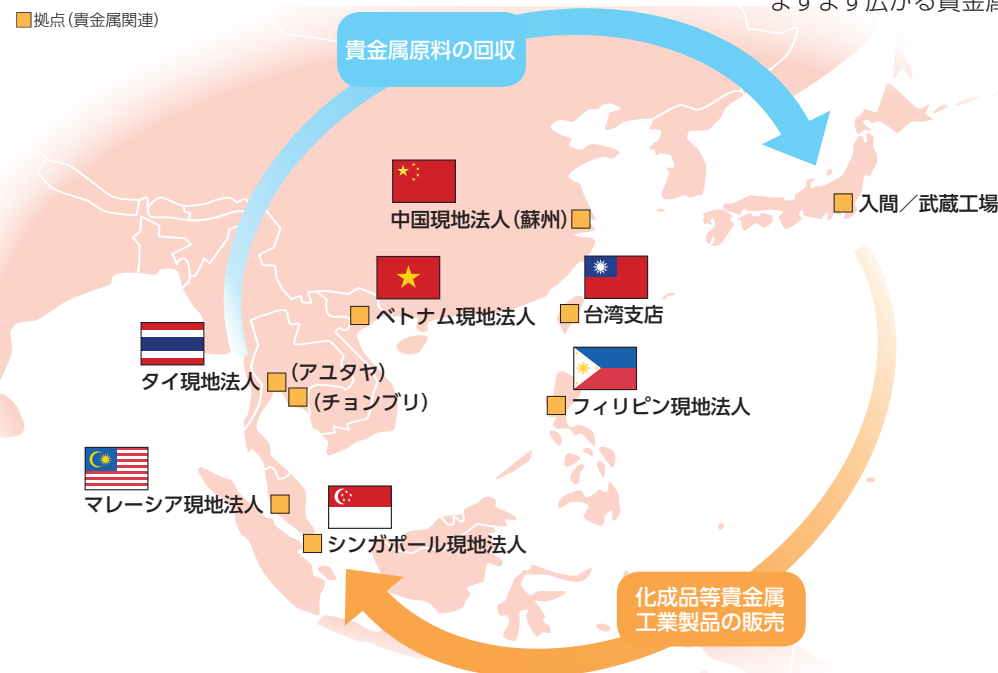
貴金属関連事業 東アジアネットワーク

東アジアでの事業基盤強化を進行中！

東アジアにおける貴金属リサイクル事業の拡大を目的に、事業基盤の強化を着々と進めています。ベトナムでは製錬工場建設の認可を取得し、本年3月に現地法人を設立しました。現在、2015年9月の稼働を目指して製錬工場建設の工事が進捗しています。ベトナム現地法人の設立により、当社の東アジアでの貴金属回収事業基盤は、シンガポール、タイ、フィリピン、中国(蘇州)、マレーシア、ベトナムの6現地法人体制となり、これらを活用してさらなる事業の拡大・発展を目指します。



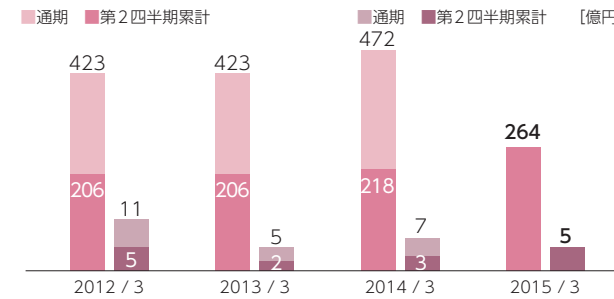
ますます広がる貴金属回収ネットワーク



食品関連事業

売上高 **264億円**
(前年同期比 20.6%増)

営業利益 **5億円**
(前年同期比 82.7%増)



2015年3月期第2四半期の業績

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響や、円安・原油高などによる原価高騰といった厳しい事業環境の中、顧客が求める安心・安全・高品質な商品の調達・販売に努めた結果、水産品、畜産品及び農産品の販売数量が増加したほか、価格上昇も寄与し、売上高は増加しました。

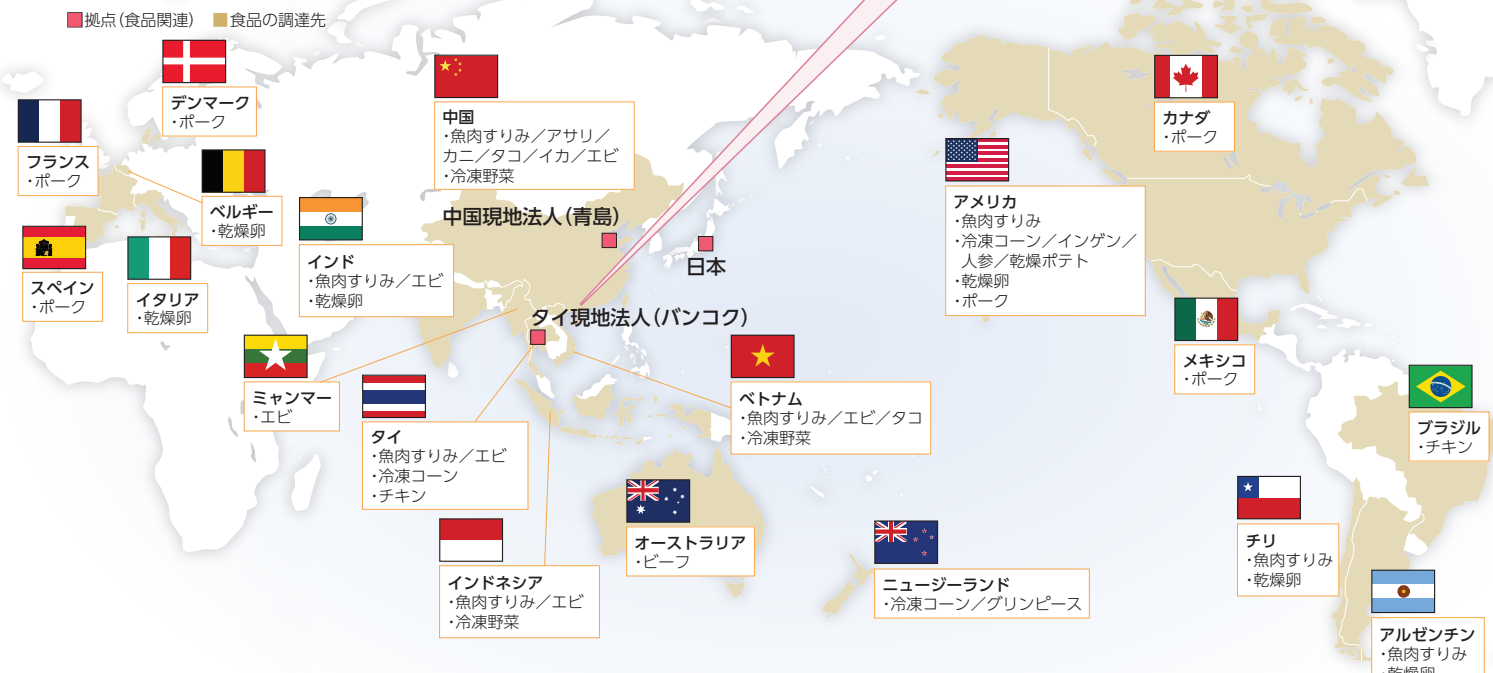
通期の見通しと施策

国内景況感の緩やかな改善を背景に高付加価値品の需要拡大が期待される中、国内外の顧客ニーズを的確にとらえた営業活動、海外拠点の活用に注力し、着実な収益確保を図ります。

食品関連事業の拠点と主な調達先

新たなビジネスモデルを展開中！

食品関連事業の海外拠点ではこれまで、現地で調達・加工した食材を日本などへ輸出する事業や国内での販売事業を中心に展開してきましたが、最近では、事業環境やお客様ニーズの変化にともない、他国で調達した食材を自国を介さずに第三国へ輸出する、「三国間貿易」を拡大し始めています。例えばタイ現地法人では、ベトナム産の冷凍魚やエビ等の水産品を米国へ輸出するビジネスを展開しています。今後も同様のビジネスを積極的に拡大していく方針です。



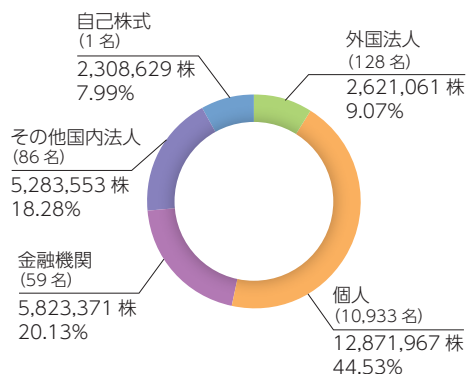
会社概要 (2014年9月30日 現在)

商号	松田産業株式会社	従業員数(連結)	1,144名
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2	主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
設立年月日	1951年6月18日	会計監査人	新日本有限責任監査法人
資本金	3,559百万円		

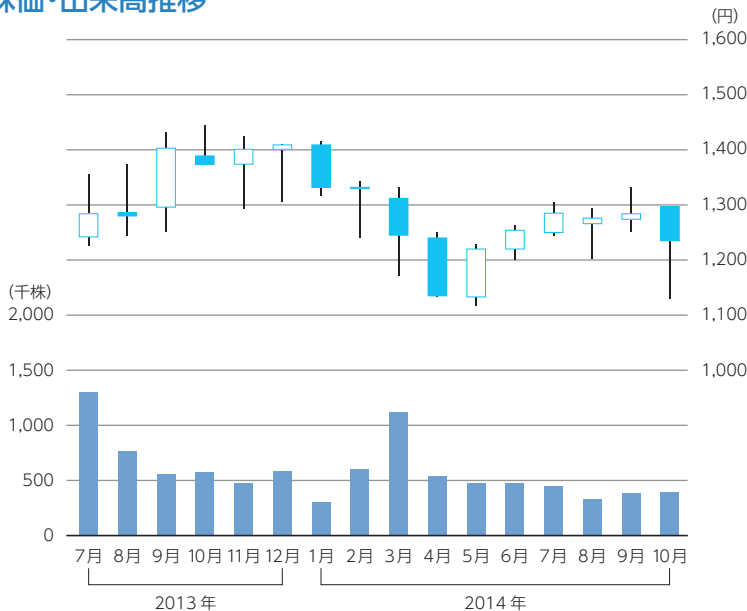
株式の状況 (2014年9月30日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	11,207名

所有者別分布状況 (2014年9月30日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



松田産業株式会社

証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

